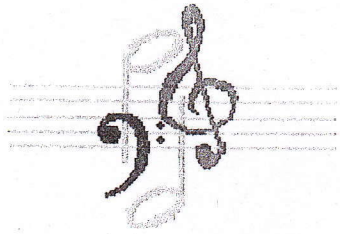


心よ響け 心に響け

浦安男声合唱団

特別演奏会



指揮:仁階堂 孝
ピアノ:若山 圭以子

「北欧合唱曲選」

Mūžu mūžos būs dziesma	作曲	Valters Kaminskis
Hän kulkevi kuin yli kukkien	作曲	Leevi Madetoja
Ave Regina coelorum	作曲	Vytautas Miškinis
Savu tėvuzemi vėro,bėrns	作曲	Romualds Kalsons

男声合唱とピアノのための組曲

「ある真夜中に」

愛から悩みが生まれ
この星に生まれて
寂庵の祈り
ある真夜中に

作詞 瀬戸内 寂聴
作曲 千原 英喜

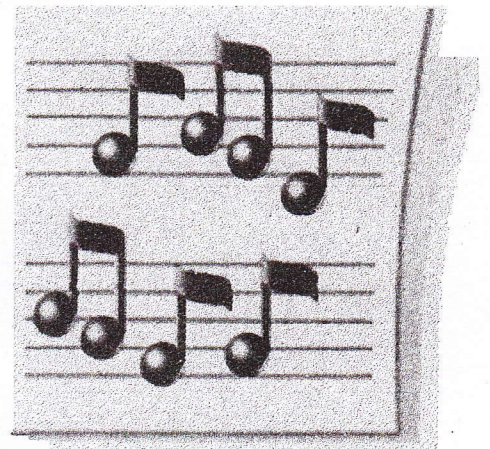
「歌う喜びを」

中国地方の子守歌
鉢をおさめて
椰子の実

〔以上は「男声合唱のための五つのルフラン」から〕

編曲 三善 晃

風のうた	作曲	千原 英喜
星に願いを	編曲	安藤 由布樹
浦安市民の歌	作曲	いずみ たく
他		



2011年10月15日(土) 13:30開場
14:00開演

浦安市文化会館 小ホール 全席自由
入場無料

(案内図、交通機関を裏面に掲載)

主催:浦安男声合唱団 (団長からの“お誘い”を裏面に掲載)

後援:浦安市合唱連盟 浦安市教育委員会 京葉男声合唱連合 日本合唱指揮者協会 日本男声合唱協会

特別演奏会へのお誘い

東日本大震災は東北地方を始めとする多くの人達に甚大な被害をもたらしました。
すべてを失って瓦礫のなかに立ちすくむ人びと。
苦しさを押し込めて感謝を口にする人びと。

震災は浦安市の人びとや我が男声合唱団にも少なからぬ影響を及ぼしました。
家屋の被害や生活インフラが破壊された不便な生活。
こんな時に歌を歌っていいのか！どこの合唱団でも経験した団員の心の葛藤。
4月の定期演奏会中止を連絡した時にいただいた、やはり震災の被害を受けた方々からの、温かい励まし。「次に演奏会を開く時には必ず聴きに行くからね！」

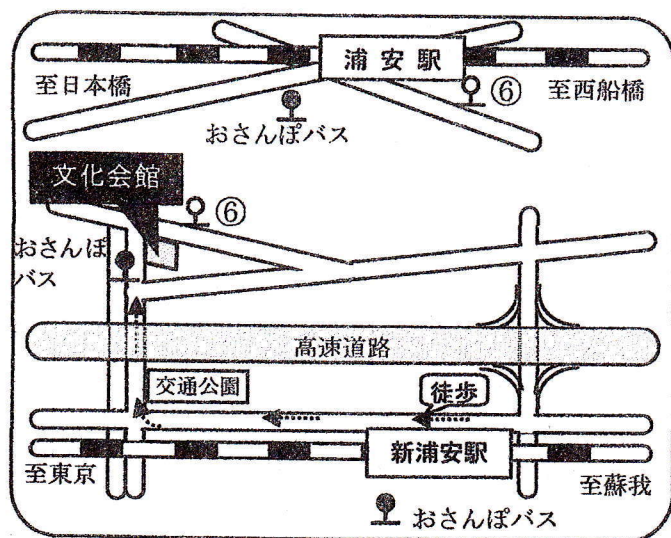
浦安男声合唱団は、震災の影響を受けた人びとを励ます思いを込めて特別演奏会を開催します。

こういう時だからこそ歌の力を信じよう。歌を歌える、この喜び。
浦安に住んでいて被災した自分達だからこそ歌える歌がある。伝えたい思いがある。

すべての人のために、思いをつくして歌います。
是非 わたしたちの演奏会において下さい。

浦安男声合唱団 団長 谷 達雄

【浦安市文化会館の案内図】



【交通機関】

地下鉄東西線「浦安駅」から

- ・おさんぽバス(新浦安駅行き)に乗り、「市役所・文化会館」で下車
- ・東京ベイシティバス⑥番線に乗り、「市役所前」で下車

JR京葉線「新浦安駅」から

- ・徒歩18分
- ・おさんぽバス(東京ベイ医療センター行き)に乗り、「市役所・文化会館」で下車

心よ響け 心に響け
浦安男声合唱団 特別演奏会
歌詞集

I 北欧合唱曲選

1. Možu Mõžos Būs
Dziesma

Inanta Ziedoņa

Mõžu mõžos būs dziesma,
un mõžu mõžos alus smekšs,
un mõžam dziesmu svētkos
nāks meitene baltās zekēs.

Ziedu un jānzāļu jūra,
un mana zilacainā skuķe
tur nāk no Dundagas dārziem,
un rokās tai balta puķe.

Ziedi un jānzāles, -
kur lai to puķi lieku!

Ziedu un vainagu jūrā
tikko līdž vārtiem tieku.

Dziesma svintī galc,
tāds kā svētums visapkārt stīdž.
Un zieds ir tik balts, -
pavisam bail nest līdž.

Klausos, - meitene mana,
baltās zekēs autā,
saplūst tālās balstis
tur, manā tautā.

Mõžu mõžos būs dziesma,
un mõžu mõžos alus smekšs,
un mõžam dziesmu svētkos
nāk meitene baltās zekēs.

2. Hān kulkevi kuin yli
kukkien

Eino Leino

Hān kulkevi kuin yli kukkien,
hān kāy kuni sävelten siivin,

いつだって歌がある

訳：松本文郎

いつだって 歌があり
いつだって ピールは旨い
歌の祭典には いつだって
白靴下の乙女がやってくる

一面の花々と緑の真夏だ
そこへ 碧い瞳の乙女が
一輪の白い花を手にして
ドワンダガからやってくる

花々と緑は真夏の象徴だ
この花の海をどう進もうか
一面の花々と花冠のなかを
私はやっと門まで辿り着く

おごそかに歌が鳴りわたり
清純な気が辺りにひろがる
その花はとも純潔な白さ
手にしていいのだから

私はじっと聴いている
真白い靴下の愛しい乙女が
遠くの声と和しているのを
親しい私たちの民人の声と

いつだって 歌があり
いつだって ピールは旨い
歌の祭典には いつだって
白靴下の乙女がやってくる

彼女は花咲く中をゆく

訳者：不詳

彼女は花の上をゆく
彼女は音の響の響のようにゆく

しなやかな腰のくびれ その姿は美しい
私が彼女に忍び寄るとき

私の力が栄え そして衰えるまで
ここで私の音楽が響いた
だから彼女は 歌の波に乗って
やって来ることができたろう
そして花の上を軽やかにゆく

3. Ave Regina coelorum
天の女王

典礼文より
「ミサ曲・ラテン語
・教会音楽ハンドブック」より

Ave Regina coelorum,
Ave Domina Angelorum:
Salve radix, salve porta,
Ex qua mundo lux est orta:
Gaude Virgo gloriosa,
Super omnes speciosa:
Vale, o valde decora,
Et pro nobis Christum exora.

幸いなるかな、天のお后様
幸いなるかな、天使たちの女王様
幸いなる根よ、幸いなる門よ
あなたによって世に光が差ししました
よろこんで下さい、栄光のおとめよ
すべての女性に饗する方よ
幸あれ、おお、いとまたたえたるべき方よ
私たちのためにキリストに祈って下さい

4. Savu Tēvuzemi Vēro,
Bērns
わが子よ

Jāņa Jaunsudrabiņa

訳：松本文郎

Raugies, bērns, ar savām gaišām
acīm,
savu tēvuzemi vēro tā,
ka lai viņas mīļā, mīļā seja
mūžam paliek tavā atmiņā.
Tad tu vari svešās malās doties,
pāri zemēm, jūrām, ilgu dzīti.
Tēvuzemei nekad neuzdīsi,
jo kā talismanu tā būs tev līdž.

我子よ おまえの輝く眼で
辺りを見わたしておくのだ
おまえの祖国の母なる大地を
心をこめて見わたすのだ
こんなにも愛しいすがたを
しっかりと心に留めるように
それでこそ 異国へ旅立てる
憧れに駆り立てられて
陸や海を越えながら
心に焼きついた故郷は
まるでお護り札のように
いつも おまえと一緒にだから
決して 祖国を忘れないだろう

Klausies, bērns, ar savām bērna
ausīm,
katris mīļās mātes vārds ir svēts.
Lai šīs lokanās un maigās skapas
dus kā zvans, sirds dzelmēs
nogremdēts.
Tad, kā vīrs, tu vari svešām balstīm
savas ausis plāši vēlā vērt.
Mātes valode tev būs tas zobens,
ar ko laurus mezglus pušu cērt.

我子よ 幼子のように
耳をそば立てて聞くのだ
おまえの愛しい母さんの
きよらかな言葉の全てを
しなやかに懐しい響きを
心の奥に秘めた鐘の音は
それでこそ 一男子として
異なる言葉に耳を傾けられる
おまえの母なる言葉は
危うい口論に捉われぬよう
おまえを護る剣となるだろう

II ある真夜中に

瀬戸内 寂庵

1. 愛から悩みが生まれ
愛から悩みが生まれ 愛から恐れが生まれる
それだから 愛する人をつくるのはおやめなさい
愛する人を失うのは とても不幸なことだから
愛することを 離れたならば 愛いも悩みも 消えはてる
恐れなんて ところにもなくなる
愛する人も 憎む人も いない人には
悩みの絆が生まれない

2. この星に生まれ

あなたに出逢えたから この星に生まれてよかった
あなたに出逢えたから 愛する喜び知らされた
あなたを愛したから この星に生きてよかった
あなたを愛したから 淋しさや悲しみにも出逢った
それでも
この星に生まれてよかった あなたに出逢えたから
愛する幸せ溺れるほど恵まれた
生きる喜びあふれるほど贈られた

3. 寂庵の祈り

幸せな時にはありがとう 苦しい時には力を下さい
淋しい時には聞いてください
いつも
(地球の) すべての人が 幸福で平和で ありますように

4. ある真夜中に

ある真夜中
どこかの星の熱いため息が 花びらになって降ってきた
花びらは舞いながらささやいた
わたしはここにいます そして あなたがそこにいてくださる
ああ 何というしあわせ
たとい永遠にあなたの顔に たどりつけなくても

ある真夜中

どこかの星の熱いため息が 雲になって降りしきました
雲は身を揉みながら歌った
わたしはここにいます そして あなたがそこにいてくれる
ああ 何というよろこび
たとい永遠にあなたの唇に たどりつけなくても

III 歌う喜びを

1. Sing Along

Robert Allen

Let me hear a melody
I start to sing along
* loud and strong
I love to sing along
Get me hear a melody
A simple singing song

And I sing along
La-Dee-Da-Dee-Da
Doo-Dee-Doo-Dee-Doo
I hear a tune begin
La-Dee-Da-Dee-Da
Doo-Dee-Doo-Dee-Doo
And before I know it I join in
* [繰り返し]
さあ 声をおう
そうさ 唄おう
声合わせて 唄わせろ

訳：松本 文郎

メロディを聞かせろよ
声合わせて唄うから
* 大声でカブよく
歌いたいんだ
心捉えるメロディー
気取らない歌を
さあ 声合わせて

ラ・ディー ダ・ディー・ダ
ドゥー・ディ・ドゥー・ディ・ドゥ
メロディが聴えてくるぜ
ラ・ディー ダ・ディー・ダ
ドゥー・ディ・ドゥー・ディ・ドゥ
知らぬ間に 一緒になってるよ

* [繰り返し]

さあ 唄おう
そうさ 唄おう
声合わせて 唄わせろ

2. 見上げてごらん夜の星を

永 六輔

見上げてごらん夜の星を 小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せを うたってる
見上げてごらん夜の星を ぼくらのように 名もない星が
ささやかな幸せを うたってる
手をつなごう ぼくと 追いかけてよう 夢を
二人なら 苦しくなんかないさ
見上げてごらん夜の星を 小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せを うたってる 祈ってる

3. 中国地方の子守歌

日本古謡

ねんねこ しゃっしゃりませ 寝た子の可愛さ
起きて泣く子の ねんころろ つら憎さ
ねんころろん ねんころろん
ねんねこ しゃっしゃりませ 今日二十五日さ
明日はこの子の ねんころろ 宮詣り
ねんころろん ねんころろん
宮へ詣ったとき なんとというて 拝むさ
一生この子の ねんころろ まめなよに
ねんころろん ねんころろん

4. 絆をおさめて

時雨吾羽

絆をおさめて 日の丸上げて
胸をドンと打ちや 夜明けの風が
そよそよと 身に沁みわたる

灘の生酒に 肴は鮓
樽を叩いて 故郷の唄に
ゆらゆらりと 日は舞い上る

金の鰯の 波波波に
縄のたすきで 故郷の踊り
男男の 血は湧き上る

エンヤッサ エンヤッサ
ヤンレッサ ヤンレッサ
躍り疲れて 島かと思れば
母へ港へ 土産の鱈

5. 椰子の実

島崎藤村

名も知らぬ遠き島より 流れ寄る椰子の実ひとつ
故郷の岸を離れて 汝はそも波に幾月

旧の柳は生いや茂れる 枝はなほ影をやなせる
われもまた渚を枕 孤身の浮雲の旅ぞ

実をとりて胸にあつれば 新たなり流離の憂い
海の日沈むを見れば 激り落つ異郷の涙

思いやる八重の汐々 いずれの日にか国に帰らむ

6. 星に願いを (When You Wish Upon A Star)

訳：松本 文郎

Ned Washington
When a star is born,
they possess a gift or two,
One of them is this they have the
power to make a wish come true

星がうまれて
授かるものに
「願い叶える力」
があるよ

When you wish upon a star
Make no difference who you are
Anything your heart desires
Will come to you
星に願いを懸けるなら
どんな人にも隔てなく
心に望むなにもかも
必ずややって来るでしょう

If your heart is in your dream
No request is too extreme
When you wish upon a star
As dreamers do

Fate is kind
She brings to those who love
The sweet fulfillment of
Their secret longing

Like a bolt out of the blue
Fate steps in and sees you through
When you wish upon a star
Your dream comes true

(日本語詞)

輝く星に 心の夢を 祈ればいつか叶うでしょう
人は 誰もひとり 悲しい夜を過ごしてる
星に祈れば 寂しい日々を 光照らしてくれてでしょう

夢見心地でいるのなら
叶わぬ願いはありません
夢見る人がするように
星に願いを懸けるなら

思いやりある運命は
人を愛する者たちが
ここに秘めた憧れを
優しく 満たす力です

思いがけない運勢は
突然やって来るのです
星に願いを懸けるなら
夢は必ず叶うでしょう

島村 葉二

7. 風のうた

安水穂和

落ちる鳥のために。悲しむ犬のために。泣く魚のために。
燃える草のために。ゆっくりと開く花のために。
光る時間のまんなかで。いつも。

遠くのひとのために。声をなくしたひとのために。
微笑むひとのために。身をわずかに揺るひとのために。
光る時間のまんなかで。いつまでも。

手をあげるひとのために。声あげるひとのために。
歩きだすひとのために。目のまえのひとのために。
今、光る時間のまんなかで。思いをつくして。

8. 南海譜

谷川 雁

1. 南のすな まぶしい影 船底から のびる線
いくさ果てて さびる鐘 わかい箱の こえの泡だち
よせる波を くだくしずけさ 孫よ 孫よ おなじ年ぞ
孫よ 魚よ おなじ骨ぞ ともにあそべ 濁のものなかで
ともにうたえ 鯨のみやこで あわれ 時の 椰子の高さ

2. 潮がみちて 十日の月
わかい箱の こえの泡だち
孫よ 孫よ おなじ年ぞ
ともにあそべ 濁のものなかで
あわれ 時の 珊瑚の赤さ